

## 練馬区議会議長賞

### 『教科書の素晴らしさ』

練馬区立谷原中学校 三学年 村井 美幸

私は小学生三年生の頃、父の海外派遣のため三年間海外で暮らしていました。もちろん私がいた国ラオスには日本人学校がなく、私はインターナショナルスクールに通っていました。そこでは日本語ではなく、すべて英語だったため国語を学ぶ機会がありませんでした。そのような中、私は国語力が足りなくなってしまう、学校終わりに開かれる補習授業校に通いました。小学四年生に進級した日、補習校に日本の子供たちが使用している教科書が私の手元に届きました。その時、私はなぜ、海外にいる日本人の子供達にも教科書が届くのか疑問に思いました。

そこで私はこの教科書が海外にある日本の大使館や日本の税金に関わることを知りました。調べたところ、国は海外子女教育の推進のため、昭和四十二年度から小・中学校用教科書を購入し、世界各地に所在する大使館等の在外公館に送って日本人学校・補習授業校の児童生徒をはじめ広く海外に在留する児童生徒に無償で給与し、年度途中で出国する児童生徒に対して出国前に教科書を給付し、海外における学習活動に支障が生じな

いようにしていました。私が帰国した時は、日本の子ども達に比べて国語力は低下したものの日本語での会話や理解はできました。それは補習校で日本の教育を受けることができたからだと思います。私は完全に日本語を忘れていなかったと安心しました。私の手元に届いた教科書は一冊一冊丁寧に作られており、とても読みやすかったです。そこで私は新たな疑問が生まれました。それは日本の教科はなぜ、無料なのかです。調べたところ国の義務教育の根幹を支えるものであり、国民全体の次代を担う子ども達への願いや思いが込められているからでした。私はこれを知って日本の教科書の素晴らしさを知ることができました。普通、教科書はお金がかかりますが日本は教科書が無料のため改めて義務教育の素晴らしさを知ることができました。

今回のことをきっかけに、私の教育への思いが変わりました。今までは各教科ごとに教科書があり、今でも暗記することがたくさんあるので勉強が退屈でした。しかし、今は義務教育を受けられるだけでも感謝していま

す。各教科ごとに作られた教科書を手に取って、今でもそう感じます。他の国では、勉強したくても勉強できない人たちがいます。その中でも日本はすべての国民に対して教科書を無料で配布し教育まで受けられます。このような素晴らしい環境の中で、勉強ができたことに感謝し、教科書を大切に使用していきたいと思いました。